

議決権行使レポート

証券コード 7276

会社名 小糸製作所

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分	○		
第2号議案 取締役9名選任			
大嶽 昌宏氏	○		
加藤 充明氏	○		
内山 正巳氏	○		
小長谷 秀治氏	○		
草川 克之氏	○		
豊田 淳氏	○		
上原 治也氏	○		
櫻井 欣吾氏	○		
五十嵐 チカ氏	○		
第3号議案 監査役2名選任			
木目田 裕氏	○		
山口 秀巳氏	○		

上記の推奨をした理由

三菱UFJ信託銀行が公開している議決権行使方針に基づく。また、財務状況に関する数値は、当社の2023年3月期から2021年3月期の決算短信を基に計算した。

第1号議案について

今期の剰余金を1株16円で総額5,143,877,648円を配当するという案である。

小糸製作所は、過去三期の当期純利益が黒字であり、かつ2023年3月期の配当性向が30.3%であることから、特別な内部留保の必要性が低いと言える。したがって、配当を実施しても問題はないと判断できる。

また、自己資本利益率の過去三年平均が6.06%で2023年3月期は6.99%であり、どちらも5%を超えており、かつ2023年3月期の配当性向が30.3%であるため、十分に株主に配当を行っていると言える。

以上から、株主利益の確保と内部留保のバランスがとれているため、剰余金の配当に賛成する。

第2号議案について

まず、大嶽氏、加藤氏、内山氏、小長谷氏、草川氏、豊田氏の計6名の社内役員について考える。6名とも経営上重大な影響を及ぼす不祥事を起こしておらず、また豊富な経験や見識を有しており当社の業績と企業価値の向上に十分貢献できると言えるため、選任に賛成する。

次に、上原氏、櫻井氏、五十嵐氏の計3名の社外役員について考える。3名とも十分な独立性を有しており、また豊富な知識と経験から監督機能を果たすことができると言えるため、選任に賛成する。

総取締役数の1/3を社外取締役が占めており、十分な独立性が保たれていることも考慮に入れ、以上から、計9名の取締役の選任に賛成する。

第3号議案について

木目田氏は弁護士として、山口氏は税理士として豊富な経験と知識有しており、経営の監督機能を十分に果たせると言えるため、2名の選任に賛成する。